

**2月20日 JDS 山梨県支部の第3回ダウン症フォーラム****会創設40周年の記念事業として開催したフォーラム**

40周年を迎えた山梨県支部(芝草の会)は、2月20日(土)に山梨大学にて、中込さと子教授と第3回山梨ダウン症フォーラムを開催しました。テーマは「接し方、かかわり方」。

生憎の荒天でしたが、多職種の専門家と芝草の会会員やご家族119名が出席し、子どもから大人までの課題について講演会と分科会で共に考える場となりました。

臨床遺伝専門医で小児科医の長谷川知子先生から「支援をするための基礎となる認識」、言語聴覚士の石上志保先生から「言葉を育てるために」、JDSの清野弘子理事から「出逢って28年ダウン症ってなあに、息子の気持ちに寄り添って」の講演をいただきました。

「レットテルを貼らず可能性を信じ、焦らず関わるのが大切」「言葉の不思議な特徴の謎が解けた!すぐに実践したい」「同様な体験があるとしても希望の道しるべになった」「支援の現場で活かしたい」等、多数の感想が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

【山梨県支部(芝草の会):野中 文子】



JDSキックオフと同日に山梨から関連事業がスタート

**2月27日 JDS 広島支部(えんぜるふいっしゅ)のスピーチ大会****自分の思いを自分の言葉で人に伝えることが生きる自信に**

広島支部では4回目の「世界ダウン症の日」記念イベントとして「スピーチ大会」を開催。「私達の思いに耳を傾けて下さい」の副題で、6名のダウン症のある本人たちと、共に活動してきた学生1名のスピーカーが、一生懸命に練習してきた成果を発表しました。

旅行の思い出や学校の仲間や職場のこと、それぞれの環境の中で起きた出来事を文字にし、自分の思いを自分の言葉で表現して伝えるという難しい発表を自信をもってやり遂げました。その力が感動となり、見に来てくださった方に伝わったのではないかと思います。緊張の中たくさん拍手を頂いた顔は、笑顔いっぱいでした。

そしてもう一つ、「私たちの平和メッセー

ジ」として、本人たちが自分にとっての「平和」とは何だろうと、言葉にして伝えました。

小さな啓発イベントですが、自信をもっていく積み重ねが大きな一歩になって、周りの支援者の皆様と進む道に続いていければと思います。

【広島支部 支部長:梅林 真奈美】



何度も練習し思いを込めて自分の言葉で発表しました!